

学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川

至誠学園

平成22年12月1日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://shiseigakuen.org/> Email: info@shiseigakuen.org

発行 児童事業部 広報委員会

ビッグファミリーとして 至誠学園開設 60 周年の秋



施設文化祭の秋

日本民生文化協会主催による第 60 回施設文化祭(11/14 明治神宮会館)に参加しました。舞踊、バンド、そして今回初めて参加の合唱(写真上)では審査員の先生に「ビッグファミリー」との評価をいただきました。子どもたち、高橋学園長、石田施設長、職員、みんなで歌いました。音楽指導と指揮は印牧(かねまき)真一郎先生です。

紅葉の秋

慶応義塾大学ライチウス会より至誠大地の家の記念に昨年いただきました「しゃらの木」が、見事に赤く紅葉しました。



60 周年を振り返る 至誠学園開設 60 周年記念セミナー(11/19)にて村瀬嘉代子先生と高橋利一学園長。

60 周年を振り返って

今年も多くの方々のご支援をいただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。

社会情勢を振り返ってみますと、回復し伸びていこうとしている子どもたちにとってつらい一年であったように思います。私たちはこうした中で社会的使命を明らかにしつつ努力してきました。

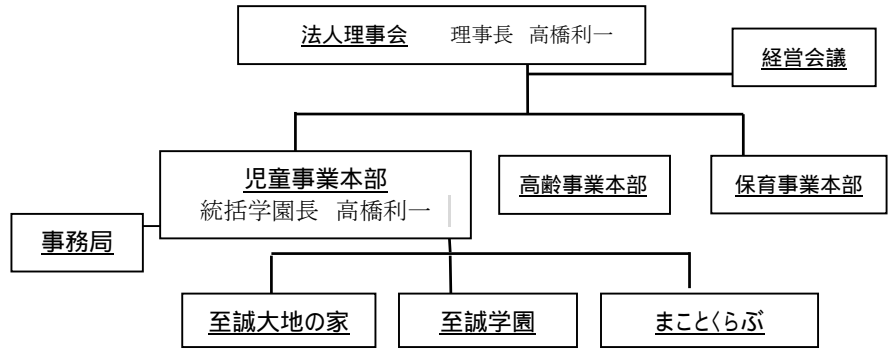
思えば、昭和 23 年(1948 年)当時の GHQ により、少年保護事業の解散を命じられ、本来ならばただちに児童養護事業に転換すべきところでしたが、建物を立川市の新制中学校の校舎として無償貸与したことから認可が遅れました。この間立川一中分校から立川三中の開設まで延期され、そして今秋、開設 60 周年を迎えようとしています。

また、先般「慶応義塾大学ライチウス会の 80 周年の集い」が品川のホテルで開催されました。150 名を超えるの方々がお集まりで、お顔を合わせるたびにその時代、時代が思いおこされ、改めて学園の 60 年間とご奉仕くださった歴史が重なり、その歴史と人と人とのつながりを大切にしたいと思う気持ちでいっぱいになりました。(高橋利一統括学園長)

児童事業本部と至誠学園

至誠学舎立川 法人組織図

至誠学舎立川の法人は、児童事業本部、高齢事業本部、保育事業本部の3つから成り立っています。児童事業本部は、至誠学園、至誠大地の家、まことくらぶの3施設で、一体的に運営しており、この「学園だより」は児童事業本部広報委員会で発行しています。



児童事業本部

- ・東京都による指導検査が9月2日至誠学園、9月3日至誠大地の家で行われ、今年も文書による指摘はなく無事終了しました。
- ・かしの木プラザの中規模修繕を行っています。現在は足場が組まれています、12月末終了予定です。
- ・来年2月からは園庭の外溝工事、芝の植え付けを予定しています。

職員のスキルの専門性を高める—他施設への見学研修

今年も東京都をはじめとして各種団体皆様の補助をいただき、秋の職員研修を実施しました。国内だけでなく海外も含めて異なる文化や異なるケアの形などに触れることができました。

香港研修 <11月2日～5日>

本年5月にISS香港の方々来日し、至誠学園を見学されました。学園の充実した施設運営を見たISS香港総監 Mr.Yau(ヤウ氏)より、ぜひ香港の実情も見て頂きたいと招聘を受けました。香港は近年まで英国統治下にあったため、東洋にありながら早くから英国の福祉政策を構築しています。至誠学園との違い、日本との違いなど学んできました。



参加者：学園長、職員三名
写真：黄大仙 ISSセンターにて

香港の社会的養護の現状を学び、日本とは異なるシステムや現状に驚かされることばかりでした。特に措置権が民間の団体に委託されているという点は大きな違いです。このことは、地域に密着した適切なサービスを現状に合わせて提供することができ、児童やその家庭にとってより良い支援ができると考えられます。また、要保護児童やその家庭、あるいは社会的養護を受けている児童をコミュニティでどのように支えていくかという高い意識が民間レベルで求められ、子どもの社会的養護という大切な取り組みを、政府に任せっぱなしにしないコミュニティ作りにつながるのではないかと考えます。
(職員の報告書より一部抜粋)

至誠学園

4月当初から定員いっぱいにもかかわらず、入所の照会が各児童相談所からくる状況です。何か、抜本的な、子どもや家庭への支援のあり方の変革をしていかなければならない緊急的な状況であろうと認識しています。児童養護施設至誠学園が地域社会に対しどんな役割を担っているのか、職員一人一人が専門家としての自負を持ちながら、考え実践していくことが求められています。真摯に現実と向き合いながら、これからも誠のこころのはたらきを念頭におきながら励んでまいりたいと思います。

モンゴル大統領夫人が来園されました

11月16日、国賓として来日中のモンゴル大統領夫人が来園されました。在日モンゴル大使夫人とモンゴルの日本大使夫人も一緒に学園を見学され、短い時間ではありましたが、子どもたちによる日舞をご覧になられるなど、子どもたちとの交流を楽しまれました。



大地の家研修—ベビーマッサージ研修より <10月27日>



はあとタッチング・コミュニケーション協会代表の古旗裕美先生にお越しいただき、子どもへのスキンシップの大切さやベビーマッサージの実習を教えてくださいました。赤ちゃんの人形を使って、歌を歌いながらリズムカルに行うのがポイントです。職員は楽しい気分で参加できました。

■この他に、学会参加(熊本)、施設見学(北海道、岩手、神奈川、静岡)、横浜市役所への訪問の各グループがあり、11月～12月に実施しています。

至誠大地の家・まことくらぶ・モンテッソーリ立川子どもの家

至誠大地の家

昨年10月1日に開設してから、多くの支えを頂きまして無事に1年が経ちました。生活するお子さんも段階的に増え、夏には定員いっぱいとなりました。養育環境の課題や、虐待や貧困といった理由で福祉の援助が必要な子どもたち、それも1歳や2歳といった小さなお子さんが、次々と入所してくるこの現状は心配です。どうにかならないものかと思えます。理由はそれぞれの家庭で異なり、関係する機関と連携のもと、子どもたちにとって最善の生活を保障できるように工夫していきたいと思えます。

幸い、よき職員が集まり、皆で力をあわせて実践を積み上げてきています。職員を始め、子どもに関わる大人が自分自身を大切に、幸せになることが、子どもたちに良きモデルとなることを信じています。

まことくらぶ

東京都共同募金会様より助成金をいただきまして、**ショップ Leaf がステキな外観になりました**



甲州街道に面した緑の木々の間に、赤い印象的なオーニングテントとLeafのイメージカラー緑のウッドデッキを設置することで、今まで気付いていただけなかった近隣の方々など、多くの新しいお客様が足を運んでくださるようになりました。街の景観に調和した、明るく人に優しいショップを目指していききたいと思います。

高齢のお客様から小さなお子様連れのお客様に向けて段差の大きかったデッキ入り口にスロープを設置。外観を大きく変えることができました。

また、運搬・リサイクル等、多目的な用途に使用する車両のサンパー(写真左下)、ペーカリー用機械ドワーコンディショナー(写真右下)を購入することができました。



山中湖わくわくキャンプ 至誠大地の家 8/18~20

大地の家の児童(1歳~小学2まで)全員30人と職員約25名で淑徳大学山中湖研修センターにてキャンプをしました。

普段の生活ではできない、みんなで一緒にご飯を食べたり、大きなお風呂に入ったり、観光船にのったり、サイクリングや山登り、バーベキュー、夜はキャンプファイヤーと大自然のなかで思いっきり遊びました。



待望の砂場が出来ました 8/29

大変暑い中の作業 ありがとうございます



ゴールドマン・サックスの有志の皆様が東京マラソンに出場し、スポンサーを募ったチャリティマラソンとして完走され、砂場建設資金をご提供いただきました。

子どもたちと一緒にボランティアの皆様が砂入れの作業もしてくださいました。

フィリップモリスジャパンの皆様

労働奉仕ありがとうございます 10/15

畑作り(写真左下)、シーツ作り(写真右)、窓やデッキのお掃除などご奉仕いただきました。運動会を前に、その後は綱引きで盛り上がりました。



モンテッソーリ立川子どもの家

8/27に夏祭りを行いました。子どもも大人も浴衣を着て、手作りのお神輿におおはしゃぎ。盆踊りも踊って夏の暑さを吹き飛ばす楽しい一日になりました。



子どもたちの生活から

非常に暑い夏だった今年、子どもたちはたくさんの行事に参加し、真っ黒に日焼けし、とても活動的に過ごすことができました。ご支援してくださった多くの方々に感謝申し上げます。

スポーツ大会

野球大会 (7/28, 7/29, 8/23)

猛暑の中、ユニフォームを真っ黒にしながら練習に励んでいました。6プロ野球大会では、最終回でも決着がつかず、ポジションごとのジャンケンで勝敗が決まるという特別ルールになり、残念ながら負けしてしまい、結果3位となりました。



バレーボール大会

(8/5, 8/21)

ぎりぎりの人数の中、大会に向けて頑張ってきました。暑い中、園庭で真っ赤な顔をしながら練習してきた成果もあり、大会では見事3位となりました。



サッカー大会 (9/26)

6プロサッカー大会が昭和記念公園で行われました。練習はとても熱心で、チームメンバーもさらに団結力が強まったように感じます。



ドッチボール大会 (8/5)

4ヶ月間、しっかり練習してきました。低学年が多い中、1勝1敗の成績を残すことができました。

立川市の焼き肉屋さん『あみやき亭』様よりご招待いただき、祝勝会として野球部、バレー部の子どもたちが食事を楽しみました。

勝浦臨海行事 (7/21~8/20)

恒例になった勝浦での臨海行事。今年は8グループに分かれ、それぞれで計画を立てて実行しました。自然に囲まれた環境の中のごはん作りから掃除まで子どもたちも積極的にお手伝いをしてくれ、充実した3~4日を過ごしました。

敬老行事 (9/18)

至誠ホームへ敬老のお祝いに行きました。子どもたちによる日舞と手作りのプレゼントを贈り、今年もお年寄りの方々の笑顔を見ることができました。

彼岸行事 (9/23)

至誠学園前園長先生、学園のお母様、卒園生のお墓参りをし、先祖を偲ぶ気持ちや供養することを学ぶ機会として、青山の善光寺へでかけました。

途中ゲリラ豪雨といえるほどの大雨が降ってしまい、お墓までの石畳も水につかりお墓まで辿りつけなかった子もいましたが、都内散策も含めて楽しみました。

運動会 (10/17)

第15回を迎えた運動会、当日モンテッソーリの子も達から東京立川ライオンズクラブの皆様、学園の子も達も競技に参加し良い汗をかきました。午前中は園庭にて、午後は学園の裏の陸上競技場をお借りし、秋の風を思いっきり浴びた一日となりました。



第60回施設文化祭 (11/14)

今年も明治神宮会館にて児童施設文化祭が行われました。この施設文化祭には昭和27年より参加し、今年で59回目の参加になります。

創作舞踊では『さあ、きょうものしく!』をテーマに幼稚園の子もから高校生まで、気持ちをひとつにして、先生のご指導のもと素晴らしい作品を作り上げ発表することができました。また、高校生と職員、前職員と一緒にバンドを組み、この文化祭を盛り上げました。今年は合唱でも出場し、子どもたちの元気な歌声が会場いっぱいに広がりました。演劇リ・アクションにも2名参加し、ダンスが含まれた劇を披露しました。



七五三 (11/15)

今年は4名が七五三を迎えました。諏訪神社でお参りして、健やかな成長を願いました。

その後子どもたちの晴れ姿を諏訪ノ森保育園、至誠ホーム、後援会三田会長に披露しました。

子どもたちの海外交流

TV 朝日高校生海外生活体験の旅 [7/22~7/30] 高2女子参加

テレビ朝日福祉文化事業団様のご協力で、シアトルに1週間ホームステイさせていただきました。たくさんの学びがあったようで、とてもよい経験をさせていただきました。ありがとうございました。
『私がアメリカで学んだことや得たことを今後の自分の人生に生かしていきたいと思っています。アメリカで体験したことが自分の自信に繋がり、今よりもっと前を見て歩けたらいいなと思っています。』
(感想文より抜粋)



YE プログラム [7/16~8/13] 高1男子参加

立川ライオンズクラブ様のご協力で、オーストラリアに1ヶ月ホームステイさせていただきました。豊かな自然と歴史ある町並みの中、多くの友達ができ、とても良い経験になりました。本当にありがとうございました。

創作舞踊 (秦野句子先生ご指導)

子どもの表現力を養うために取り入れた情操教育の一つとして邦千谷先生にご指導をいただきながら続けてきましたが、邦千谷先生が体調を崩されたのちは、愛弟子である秦野句子先生が引き継いで今日までご指導いただいています。

***施設文化祭の衣装づくり**

西村よね様を中心に、施設文化祭の舞踊での衣装を作っていただいています。今年は赤十字奉仕団の皆様のご協力もありました。

歌の教室 (印牧由規子先生ご指導)

毎週木曜と火曜に歌とピアノの教室が開かれています。また、印牧真一郎先生にもご指導をいただきながら、施設文化祭やセミナーにも参加しました。

ライオンズクラブ様

運動会をはじめ、YEプログラム等のご支援もいただいています。

ダイエー様

学園にて1日子どもたちと一緒にゲーム等をして遊んでいただきました。(下写真)

子どもたちの地域活動

ボーイスカウト立川第四団

夏休み中それぞれの隊でキャンプをおこないました。今年は8/1~8/9でボーイスカウト日本ジャンボリーに学園から男子3名が参加しました。その他に隊集会、デイキャンプ等に参加しています。

ガールスカウト東京158団

8/2~8/4 八ヶ岳でキャンプを行いました。ボーイスカウト、ガールスカウトともに赤い羽根の共同募金(10/6)、クリーン多摩川など多くの活動に参加しています。



その他にも、子どもたちのために多くの方々にご招待、ご支援をいただきました。ありがとうございました。

子どもたちの生活を支える活動から

村瀬嘉代子先生宅へご招待

今年は8月に村瀬先生のお宅に高校生女子2名がお邪魔いたしました。他の家に伺う機会が少ないので、とてもよい経験になっています。

臨海行事

千葉県にある学園のセカンドホーム(勝浦の家)を寄付してくださった徳井美千代様には、今年の夏も臨海行事でお世話になりました。徳井様のご厚意で御宿の別荘もお借りして、臨海行事をおこなったグループもありました。

高校生の自立プログラム

高校生を中心に、大学進学に向けてのご指導や資金の援助、クリスマスにはゴールドマン・サックスのボランティアの方がサンタさんになり、子どもたちひとりひとりにプレゼントをくださっています。

美容

子どもたちの散髪のために、さくらグループの皆さん、美容室ハレケさんがご協力してくださっています。

まことくらぶ <11/20>

「みんなで楽しもう! 高尾山ハイキング~紅葉を見にいこうよ~」



会員の皆さん、ご家族、関係機関の方々、ボランティア、スタッフの総勢35人で紅葉まっさかりの高尾山に行ってきました。

大勢の登山客と一緒に、皆でおいしい空気と綺麗な紅葉を十分に楽しむことができました。

苦情解決委員会

今年度6月末現在までの委員会としての活動は0件でした。学園の様々な行事の折に、子どもたちの生活の様子をごらんいただき、子どもたちの成長を見守ってくださっています。木津川迪治さん(弁護士) 名取種子さん(立川市人権擁護委員) 石川親治さん(元立川市立第三中学校教諭) の皆様です。

後援会からのお知らせ

平成 22 年度第 1 回役員会が行われました。

日時:平成22年7月24日(土)午後5時~午後20時
場所: 至誠学園かしの木プラザ会議室

<平成 21 年度の後援会活動>

資金助成 至誠学園へ 100 万円を自動車購入助成
卒園生 5 名へのお祝い金 10 万円
その他

- 6 月 20 日 後援会役員会
平成 20 年度事業報告、決算報告
 - 9 月 28 日 至誠大地の家落成式
 - 10 月 18 日 運動会 陸上競技場
 - 12 月 24 日 後援会役員会
 - 12 月 24 日 学園クリスマス会
 - 2 月 6 日 後援会役員会 新宿玄海
 - 3 月 20 日 卒園式
 - 4 月 8 日 深澤よし子様告別式
- 21 年度会費納入会員 269 名

<平成 22 年度事業計画>

今年も平成 21 年度と同じ役員のメンバーで、昨年同様、会員や寄付者の拡張、施設整備、備品の購入、自立する高校卒業への支援金(祝い金)などを中心に活動を行います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

* 三田鶴吉会長の近況

ご自宅で療養中です。佐々木信孝会長代行や他皆様と連絡しております。

<至誠学園後援会役員>(敬称略)

会 長 三田鶴吉、会長代行 佐々木信孝
副会長 浅見義明 西村よね
理 事 小山廣重、名取種子、長谷川照代、高橋利一、
小川庄二、徳井美千代、西村一夫、
師岡恵美子
会 計 渡辺道子
監 査 杉田英一、高橋久雄
事務局 林啓子、高橋久美子
顧 問 青木徳祐、岩崎浩三、土井智生、丸本大、
矢野雄一

クリーン多摩川の活動

クリーン多摩川実行委員会の活動として毎年 2 回実施されていますが、立川市のごみ対策部の協力を得て、今年も 9/26 に行いました。クリーン多摩川実行委員会は、会長三田鶴吉氏、会長代行高橋利一学園長、事務局は東京立川ライオンズクラブ、その他、明るい社会をつくる会、真如苑、NPO 法人東京賢治の学校、自衛隊など地域の各団体で構成されています。今年で活動 30 年を迎えました。ボーイスカウト、ガールスカウトも参加しています。

平成 21 年度 決算報告

収入の部

	予算	決算
繰越金	127,741	127,741
後援会会費	2,500,000	1,757,000
利息		117
合計	2,627,741	1,884,858

支出の部

	予算	決算
学園寄付金	2,000,000	1,000,000
卒園生祝い金	100,000	100,000
郵便振替料金	30,000	25,080
切手領収書	30,000	20,000
印刷製本	50,000	0
雑費	50,000	15,750
予備費	367,741	0
次年度繰越		724,028
	2,627,741	1,884,858

平成 22 年度 予算

収入の部

繰越金	724,028
会費	2,500,000
合計	3,224,028

支出の部

学園寄付金	2,500,000
卒園生祝い金	120,000
予備費	604,028
合計	3,224,028

今年度は卒園生の予定は 6 名ですので、
@ 20,000 円 × 6 名としています。

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。

(至誠学園後援会会長代行 佐々木信孝)

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします。

会費の納入は下記の口座にて承ります。

<郵便振替口座>

口座番号 00140 - 2 - 356681

口座名 至誠学園後援会

<銀行口座>

中央三井信託銀行立川支店

口座番号 普通 7902588

口座名 至誠学園後援会

<連絡先>

至誠学園後援会事務局

立川市錦町 6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

法人 100 周年シンポジウム



11/10 に法人 100 周年記念のシンポジウムが武蔵野公会堂で行われました。講師のご都合で急遽ビデオになりましたが、350 席が満席で入りきれないほどの大盛況でした。

11 月 児童虐待防止記念月間セミナー



今年も第7回児童虐待防止月間記念セミナーを 11/19 立川市民会館小ホールで実施しました。今年には至誠学園開設 60 周年でもあり、第一部は子どもたちと職員による歌

第二部は村瀬嘉代子先生と高橋利一学園長の対談で、110 名以上もの地域の皆様のご参加により、楽しい充実したひとときとなりました。

高橋利一統括学園長の近況

今年 9 月初旬にアメリカ、サンフランシスコの大学や児童養護に関する施設を視察に行ってきました。

特にカリフォルニアのセネカセンターの視察やカルフォルニア大学でのカンファレンスは日本の福祉の将来を考える上で大変参考になりました。

ケン理事長は『こどもを見捨てない』というスローガンに取り組みされており、理事長や職員の方々のホスピタリティに感激いたしました。ケン理事長ご夫妻とは、一昨年、ソウルの国際セミナーでシンポジストとしてご一緒いたしました。今回の訪問はそのご縁でもありました。

また、11 月上旬には香港国際社会事業団のお招きによりグループホームを訪ね、児童福祉活動を見学しました。

(高橋利一統括学園長)

全国児童養護施設長研究協議会に参加

(11/17~19 岡山にて)

高橋利一学園長は「社会に認められ、求められる児童養護施設をめざして」研究部会での助言者とシンポジウム「新たな子育てシステムの構築に向けて」のコーディネーターとして参加し、石田施設長はこの研究部会で学園の金子保先生の研修を発展させた発表をしました。

永年勤続職員表彰

石田昌久副施設長が勤続 20 年の表彰を受けました。

松島賞受賞

第 33 回児童養護施設職員研究奨励賞(松島賞)を、至誠学園の紀要 3 号における兎澤聖職員と清水豪治療指導担当職員、至誠大地の家の水野周子職員の三名による論文が受賞しました。松島賞とは、児童養護事業に絶大な尽力をなされた初代会長故松島正儀氏が研究奨励としてご寄付くださったもので、児童養護施設職員の優れた研究に贈られており毎年 3 本が対象となっています。

第 30 回児童文化奨励絵画展銅賞受賞

学園からよしきりホームのH君が銅賞に選ばれました。

施設の機能強化のための職員研修



・金子保先生(淑徳大学教授)の法人理念とケアワーク(写真左)・皆川邦直先生(法政大学教授)のケースカンファレンス、・西澤哲先生(山梨県立大学教授)の子どもの心理理解、・小野純平先生(法政大学教授)の学習支援。

園内では川井尚先生の家族療法、学園長の制度政策があり、本年も充実したスケジュールです。

主な行事予定(学園主催)

- モンテッソーリ立川子どもの家 クリスマス会 12 月 18 日
- 学園 クリスマス会 12 月 24 日
子どもたちの自治会も企画に参加して行きます。子どもたちは張り切ってすでに自主的に練習に取り組んでいます。
- 卒園生友の会総会 2011 年 1 月 2 日
- 成人式
- ひな祭り
- モンテッソーリ立川子どもの家 卒園式 3 月 12 日
- 学園卒園式

受験生情報コーナー

推薦入試により一名が大学合格!

今年、高校 3 年生は 5 名です。うち 3 名が大学進学希望しています。そのうち 1 名が推薦入試により合格しました。

日野キッズ引っ越し



中高生の子どもの多くなり、個室環境の必要性から、9 月に同じ日野市内に引っ越しをしました。現在、ようやく新しい環境に慣れてきたところです。これまで、ご近所の皆様には大変お世話になりました。また、今後ともよろしくお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

編集後記

施設文化祭で今回初めて、子どもたち(3 歳~小学生)、学園長、施設長、職員みんな一緒にの合唱を披露しました。審査員の先生より絶賛され「ビッグファミリー」「来年も出てください」との講評をいただきました。



かしの木プラザ入口のみかんの木に実がたわわになりました。重そうですが折れずに頑張っています。今年もお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。広報委員会一同